



## 2025年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月12日

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所 東  
 コード番号 3660 URL <https://www.istyle.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 吉松 徹郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副会長CFO (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(6161)3660  
 定時株主総会開催予定日 2025年9月27日 配当支払開始予定日 2025年9月9日  
 有価証券報告書提出予定日 2025年9月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2025年6月期の連結業績(2024年7月1日~2025年6月30日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期	68,768	22.6	3,164	63.1	3,310	92.3	2,327	91.6
2024年6月期	56,085	30.8	1,940	137.4	1,721	319.4	1,214	341.2

(注) 包括利益 2025年6月期 2,007百万円(28.0%) 2024年6月期 1,568百万円(366.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年6月期	28.97	19.73	17.3	10.6	4.6
2024年6月期	15.65	10.42	11.5	6.6	3.5

(参考) 持分法投資損益 2025年6月期 153百万円 2024年6月期 72百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期	34,601	17,007	46.0	178.53
2024年6月期	28,141	12,187	39.0	139.38

(参考) 自己資本 2025年6月期 15,900百万円 2024年6月期 10,979百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年6月期	3,139	△2,658	1,012	7,199
2024年6月期	3,336	△4,569	160	5,787

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年6月期	—	0.00	—	1.00	1.00	89	3.5	0.6
2026年6月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00		3.4	

## 3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日~2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	83,000	20.7	3,800	20.1	3,800	14.8	2,650	13.9	29.72

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 ー社 (社名)ー、除外 ー社 (社名)ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料14ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年6月期	91,754,577株	2024年6月期	81,463,593株
2025年6月期	2,693,618株	2024年6月期	2,693,567株
2025年6月期	80,308,199株	2024年6月期	77,576,037株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年6月期の個別業績 (2024年7月1日~2025年6月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期	10,387	23.0	647	—	1,870	—	1,837	—
2024年6月期	8,442	17.0	△322	—	△465	—	△202	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年6月期	22.87		15.58					
2024年6月期	△2.60		—					

(注) 2024年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期	26,393	14,009	49.5	146.57
2024年6月期	22,404	9,416	37.5	106.72

(参考) 自己資本 2025年6月期 13,054百万円 2024年6月期 8,406百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料6ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。なお、連結業績予想の1株当たり当期純利益は2025年7月末までの新株予約権の行使による影響を加味して計算しております。
- ・当社は2025年8月13日にアナリスト及び機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	5
(4) 今後の見通し .....	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
連結損益計算書 .....	9
連結包括利益計算書 .....	10
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計方針の変更) .....	14
(セグメント情報等の注記) .....	14
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、2024年8月に発表しました中期事業方針に基づき、リテール事業（EC・店舗）の拡大を通じてユーザーとの接点やデータを増やし、それらをマーケティング支援事業（BtoBサービス）でマネタイズすることで、中期事業目標である連結売上高1,000億円、連結営業利益80億円の達成を目指しております。

今期2025年6月期は中期事業方針の初年度として、マーケティング支援事業におけるソリューションの拡充やデータドリブンソリューション等の新サービス開発、リテール事業での更なる店舗網の拡大とプラットフォーム連携によるECの成長を図ってまいりました。なお、グローバル事業におきましては、期初計画外の香港旗艦店「@cosme HONG KONG」のオープン前費用を計上したため、来期以降での黒字化を見込んでおります。

当連結会計年度における業績は以下の通りです。

売上高におきましては、国内で展開しているマーケティング支援事業及びリテール事業が業績を牽引し、前年同期比で22.6%の増収となりました。特に、リテール事業のEC・店舗がともに成長したことで、前年同期比26.9%の増収を記録しました。

営業利益におきましては、売上高と同様にマーケティング支援事業及びリテール事業が増益に貢献し、全社的な人件費やシステム関連費用の増加を吸収して、63.1%の増益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は以下の通りとなりました。

売上高	68,768百万円（前年同期 56,085百万円 / 前年同期比 22.6%増）
営業利益	3,164百万円（前年同期 1,940百万円 / 前年同期比 63.1%増）
経常利益	3,310百万円（前年同期 1,721百万円 / 前年同期比 92.3%増）
税金等調整前当期純利益	3,194百万円（前年同期 1,589百万円 / 前年同期比 101.1%増）
親会社株主に帰属する当期純利益	2,327百万円（前年同期 1,214百万円 / 前年同期比 91.6%増）

## ① マーケティング支援事業

当セグメントには、当社が運営するコスメ・美容の総合サイト「@cosme（アットコスメ）」を基盤とした、化粧品ブランド向けの広告ソリューションやデータドリブンソリューションが属しております。

売上高におきましては、ECと店舗を活用した販売促進施策の好調も背景に、大手化粧品ブランドだけでなく中堅・新興ブランドとの取引が引き続き拡大し、前年同期比15.7%の増収となりました。

営業利益におきましては、グループ内（主にリテール事業）からの@cosme商標に関するライセンス料による利益計上（セグメント間取引）に加えて、限界利益率の高い事業モデルが効率的な利益拡大につながり、74.5%の増益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は以下の通りとなりました。

売上高	9,651百万円（前年同期 8,344百万円 / 前年同期比 15.7%増）
営業利益	2,822百万円（前年同期 1,617百万円 / 前年同期比 74.5%増）

## ② リテール事業

当セグメントには、化粧品ECサイト「@cosme SHOPPING（アットコスメショッピング）」、化粧品専門店「@cosme STORE（アットコスメストア）」等の国内における小売業を中心としたサービスが属しております。

売上高におきまして、ECでは、引き続きプラットフォーム連携による新規顧客の獲得や、販売イベントである2024年12月の「@cosme BEAUTY DAY」及び2025年6月の「@cosme SPECIAL WEEK」などの成功により、前年同期比27.6%の増収となりました。店舗では、既存店改装等による延床面積の拡大に伴い、ネットとリアルを融合した体験が生活者にさらに浸透したことやインバウンド需要の増加もあり、26.5%の増収となりました。結果として、セグメント全体では26.9%の増収にて着地しました。

営業利益におきましては、マーケティング支援事業に対するライセンス料の支払い（セグメント間取引）があったものの、増収寄与により、18.2%の増益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は以下の通りとなりました。

売上高	53,463百万円（前年同期 42,145百万円 / 前年同期比 26.9%増）
営業利益	3,115百万円（前年同期 2,636百万円 / 前年同期比 18.2%増）

## ③ グローバル事業

当セグメントには、日本国外で展開するEC・卸売、店舗、メディア等のサービスが属しております。

売上高におきましては、中国越境ECの復調に加え、韓国事業における日本進出支援が引き続き成長した結果、セグメント全体で前年同期比6.1%の増収となりました。

営業利益におきましては、香港旗艦店のオープン前費用129百万円を計上したものの、利益率の高いBtoBサービスの増収によって韓国事業が黒字化し、前年同期比で赤字幅を縮小しての着地となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は以下の通りとなりました。

売上高	4,174百万円（前年同期 3,935百万円 / 前年同期比 6.1%増）
営業利益	△176百万円（前年同期 △209百万円）

## ④ その他事業

当セグメントには、美容部員を派遣する人材派遣事業と、ユーザー向けのBtoC課金サービス、創業間もない企業も含め幅広い成長ステージの企業に投資する投資育成事業が属しております。

売上高におきましては、BtoC課金サービスの1つである「BLOOMBOX」が2024年12月で終了した影響を受け、前年同期比10.9%の減収となりました。

営業利益におきましては、前述の通り「BLOOMBOX」の終了によって、25.4%の減益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は以下の通りとなりました。

売上高	1,480百万円 (前年同期 1,661百万円 / 前年同期比 10.9%減)
営業利益	188百万円 (前年同期 252百万円 / 前年同期比 25.4%減)

## (2) 当期の財政状態の概況

### ① 資産の部

当連結会計年度末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ6,460百万円増加し、34,601百万円となりました。

当連結会計年度末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ4,556百万円増加し、21,041百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,462百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が889百万円、商品が2,198百万円増加したこと等によるものであります。

当連結会計年度末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,904百万円増加し、13,560百万円となりました。これは主に、有形固定資産が1,826百万円増加したこと等によるものであります。

### ② 負債の部

当連結会計年度末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ1,641百万円増加し、17,594百万円となりました。

当連結会計年度末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ4,455百万円増加し、12,692百万円となりました。これは主に、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債が1,500百万円、支払手形及び買掛金が699百万円、未払金が565百万円、短期借入金が550百万円増加したこと等によるものであります。

当連結会計年度末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ2,814百万円減少し、4,902百万円となりました。これは主に、リース債務が837百万円増加したものの、転換社債型新株予約権付社債が4,000百万円減少したこと等によるものであります。

### ③ 純資産の部

当連結会計年度末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ4,820百万円増加し、17,007百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が5,138百万円増加したこと等によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ1,412百万円増加し、7,199百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と要因は以下の通りであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果得られた資金は、3,139百万円（前年同期は3,336百万円の収入）であります。

この主な要因は、棚卸資産の増加額2,221百万円、売上債権の増加額910百万円があったものの、税金等調整前当期純利益3,194百万円の計上、仕入債務の増加額712百万円、非資金取引である減価償却費1,886百万円の計上、株式報酬費用343百万円の計上、のれん償却額202百万円の計上等があったことによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果使用された資金は、2,658百万円（前年同期は4,569百万円の支出）であります。

この主な要因は、有形固定資産の取得による支出1,219百万円、無形固定資産の取得による支出1,348百万円等があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果得られた資金は、1,012百万円（前年同期は160百万円の収入）であります。

この主な要因は、長期借入金の返済による支出1,088百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出334百万円、リース債務の返済による支出258百万円があったものの、長期借入れによる収入2,200百万円、短期借入金の純増加額550百万円等があったことによるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期	2025年6月期
自己資本比率 (%)	35.5	38.1	41.6	39.0	46.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	167.1	73.8	174.6	136.3	136.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	712.0	768.2	150.6	141.5	230.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	14.1	39.9	54.6

- (注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式数を除く）により算出しております。
3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。
4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。なお、転換社債型新株予約権付社債については、無利息のため有利子負債には含めておりません。
5. 2021年6月期、2022年6月期は営業利益がマイナスであるため、インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)を、記載しておりません。

## (4) 今後の見通し

2026年6月期におきましては、プラットフォームの着実な成長を図るとともに、中期事業目標の達成に向け、人材やシステムへの戦略的な投資を強化してまいります。

持続的な成長に向け、メディア・EC・店舗のシナジーを最大化すべく、マーケティング支援事業ではデータドリブンソリューションを新たな収益の柱として確立してまいります。リテール事業においては、ユーザーとブランドの出会いを充実させるため、体験価値の向上と接点の拡大を図ってまいります。

以上により、2026年6月期連結業績予想は以下の通りとしております。

## &lt;2026年6月期連結業績予想&gt;

売上高	83,000百万円	(前年同期	68,768百万円	/	20.7%増)
営業利益	3,800百万円	(前年同期	3,164百万円	/	20.1%増)
経常利益	3,800百万円	(前年同期	3,310百万円	/	14.8%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,650百万円	(前年同期	2,327百万円	/	13.9%増)

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当連結会計年度 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,762	7,224
受取手形、売掛金及び契約資産	4,646	5,535
商品	4,217	6,415
営業投資有価証券	1,070	964
その他	796	913
貸倒引当金	△6	△11
流動資産合計	16,484	21,041
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,242	3,105
減価償却累計額	△1,315	△1,566
建物(純額)	927	1,539
リース資産	1,829	2,580
減価償却累計額	△1,509	△1,440
リース資産(純額)	319	1,140
その他	1,228	1,797
減価償却累計額	△712	△888
その他(純額)	516	910
有形固定資産合計	1,762	3,589
無形固定資産		
のれん	1,223	937
ソフトウェア	1,697	1,912
その他	652	781
無形固定資産合計	3,572	3,630
投資その他の資産		
投資有価証券	3,557	3,511
敷金及び保証金	1,814	1,907
繰延税金資産	656	627
その他	326	298
貸倒引当金	△31	—
投資その他の資産合計	6,322	6,342
固定資産合計	11,656	13,560
資産合計	28,141	34,601

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当連結会計年度 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,711	3,409
短期借入金	450	1,000
1年内返済予定の長期借入金	758	1,198
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	—	1,500
未払金	1,527	2,092
リース債務	251	270
未払法人税等	326	626
契約負債	819	1,020
賞与引当金	424	453
その他	971	1,122
流動負債合計	8,237	12,692
固定負債		
長期借入金	3,185	3,857
転換社債型新株予約権付社債	4,000	—
リース債務	77	914
その他	455	131
固定負債合計	7,717	4,902
負債合計	15,953	17,594
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,719	7,179
資本剰余金	3,662	2,314
利益剰余金	507	5,645
自己株式	△280	△280
株主資本合計	9,607	14,858
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87	△67
為替換算調整勘定	1,284	1,109
その他の包括利益累計額合計	1,371	1,043
新株予約権	1,011	955
非支配株主持分	198	151
純資産合計	12,187	17,007
負債純資産合計	28,141	34,601

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
売上高	56,085	68,768
売上原価	31,440	39,134
売上総利益	24,645	29,634
販売費及び一般管理費	22,705	26,470
営業利益	1,940	3,164
営業外収益		
受取利息	7	9
受取配当金	7	7
助成金収入	5	0
持分法による投資利益	72	153
貸倒引当金戻入額	—	31
投資事業組合運用益	—	4
その他	22	53
営業外収益合計	113	256
営業外費用		
支払利息	49	58
為替差損	106	6
株式交付費	—	31
投資事業組合運用損	3	1
遊休資産諸費用	168	—
支払手数料	1	1
その他	6	13
営業外費用合計	332	111
経常利益	1,721	3,310
特別利益		
固定資産売却益	6	—
新株予約権戻入益	0	0
負ののれん発生益	0	—
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	6	0
特別損失		
減損損失	108	113
店舗閉鎖損失	17	—
事業構造改善費用	13	—
その他	1	3
特別損失合計	139	116
税金等調整前当期純利益	1,589	3,194
法人税、住民税及び事業税	462	809
法人税等調整額	△122	51
法人税等合計	340	860
当期純利益	1,249	2,334
非支配株主に帰属する当期純利益	34	7
親会社株主に帰属する当期純利益	1,214	2,327

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
当期純利益	1,249	2,334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	△126
為替換算調整勘定	332	△173
持分法適用会社に対する持分相当額	△31	△27
その他の包括利益合計	320	△327
包括利益	1,568	2,007
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,525	1,998
非支配株主に係る包括利益	43	9

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	5,467	4,558	△708	△280	9,038	99	961	1,061	437	155	10,690
当期変動額											
新株の発行	251	251			503			—			503
資本剰余金から利益剰余金への振替					—			—			—
親会社株主に帰属する当期純利益			1,214		1,214			—			1,214
自己株式の取得					—			—			—
連結子会社株式の取得による持分の増減		△1,148			△1,148			—			△1,148
連結子会社株式の売却による持分の増減					—			—			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—	△12	323	310	574	43	928
当期変動額合計	251	△896	1,214	—	570	△12	323	310	574	43	1,497
当期末残高	5,719	3,662	507	△280	9,607	87	1,284	1,371	1,011	198	12,187

当連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	5,719	3,662	507	△280	9,607	87	1,284	1,371	1,011	198	12,187
当期変動額											
新株の発行	1,460	1,460			2,921			—			2,921
資本剰余金から利益剰余金への振替		△2,811	2,811		—			—			—
親会社株主に帰属する当期純利益			2,327		2,327			—			2,327
自己株式の取得				△0	△0			—			△0
連結子会社株式の取得による持分の増減		2			2			—			2
連結子会社株式の売却による持分の増減		0			0			—			0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—	△154	△175	△329	△55	△47	△431
当期変動額合計	1,460	△1,348	5,138	△0	5,250	△154	△175	△329	△55	△47	4,820
当期末残高	7,179	2,314	5,645	△280	14,858	△67	1,109	1,043	955	151	17,007

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,589	3,194
減価償却費	1,854	1,886
のれん償却額	208	202
株式報酬費用	579	343
減損損失	108	113
株式交付費	—	31
店舗閉鎖損失	17	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△26
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△36	33
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	△17	—
持分法による投資損益 (△は益)	△72	△153
受取利息及び受取配当金	△13	△16
支払利息	49	58
為替差損益 (△は益)	93	1
投資事業組合運用損益 (△は益)	3	△3
固定資産売却損益 (△は益)	△6	—
新株予約権戻入益	△0	△0
負ののれん発生益	△0	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△396	△910
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	23	0
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,132	△2,221
仕入債務の増減額 (△は減少)	554	712
未払金の増減額 (△は減少)	267	188
その他	80	194
小計	3,750	3,625
利息及び配当金の受取額	77	82
利息の支払額	△49	△59
法人税等の支払額	△442	△510
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,336	3,139

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資事業組合からの分配による収入	69	56
有形固定資産の取得による支出	△641	△1,219
無形固定資産の取得による支出	△1,131	△1,348
投資有価証券の取得による支出	△2,673	△16
差入保証金の差入による支出	△107	△248
差入保証金の回収による収入	94	170
定期預金の預入による支出	—	△37
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△136	—
その他	△44	△15
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△4,569</b>	<b>△2,658</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50	550
長期借入れによる収入	1,200	2,200
長期借入金の返済による支出	△761	△1,088
リース債務の返済による支出	△250	△258
株式の発行による収入	498	22
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△478	△334
その他	—	△80
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>160</b>	<b>1,012</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>102</b>	<b>△81</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△972	1,412
現金及び現金同等物の期首残高	6,759	5,787
現金及び現金同等物の期末残高	5,787	7,199

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

## 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの主な事業は化粧品関連事業であり、化粧品に関するクチコミサイト及び当該サイトを軸にしたマーケティング支援事業、リテール事業、グローバル事業を展開しております。したがって、当社グループは提供サービス及び取扱商品の区分により、経済的特徴が概ね類似している事業セグメントを集約した「マーケティング支援事業」、「リテール事業」、「グローバル事業」の3つを報告セグメントとしております。

マーケティング支援事業には、国内でのマーケティング支援事業等が属しております。

リテール事業には、国内における化粧品ECサイトの運営、化粧品専門店の運営等が属しております。

グローバル事業には、日本国外で展開するサービスが属しております。

なお、その他事業の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、美容部員等を派遣する人材派遣事業と、ユーザー向けのBtoC課金サービス、創業間もない企業も含め幅広い成長ステージの企業に投資する投資育成事業が属しております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計基準に準拠した方法であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報  
前連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

	報告セグメント				その他 事業 (注) 1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円)	連結財務諸 表計上額 (百万円)
	マーケ ティング支 援事業 (百万円)	リテール 事業 (百万円)	グローバ ル事業 (百万円)	計 (百万円)				
売上高								
一時点で移転される財 又はサービス	—	42,145	3,107	45,253	—	45,253	—	45,253
一定の期間にわたり 移転される財 又はサービス	8,344	—	827	9,172	1,634	10,806	—	10,806
顧客との契約から生じる収益	8,344	42,145	3,935	54,424	1,634	56,059	—	56,059
その他の収益	—	—	—	—	26	26	—	26
外部顧客への売上高	8,344	42,145	3,935	54,424	1,661	56,085	—	56,085
セグメント間の内部 売上高又は振替高	895	95	2	991	35	1,026	△1,026	—
計	9,239	42,240	3,937	55,416	1,696	57,111	△1,026	56,085
セグメント利益又は損失 (△)	1,617	2,636	△209	4,044	252	4,296	△2,356	1,940
セグメント資産	4,313	11,038	4,352	19,702	1,413	21,115	7,026	28,141
その他項目								
減価償却費	1,162	378	262	1,803	—	1,803	51	1,854
減損損失	85	24	—	108	—	108	—	108
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,139	635	11	1,784	—	1,784	34	1,818

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業、BtoC課金サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,356百万円は、セグメント間取引消去3百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,360百万円であります。

3. セグメント資産の調整額7,026百万円は、セグメント間取引消去△5,611百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産12,637百万円であります。

4. 減価償却費の調整額51百万円は、各報告セグメントに帰属しない全社資産51百万円に係るものであります。

5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額34百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産34百万円であります。

6. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

	報告セグメント				その他 事業 (注) 1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円)	連結財務諸 表計上額 (百万円)
	マーケ ティング支 援事業 (百万円)	リテール 事業 (百万円)	グローバ ル事業 (百万円)	計 (百万円)				
売上高								
一時点で移転される財 又はサービス	—	53,463	3,290	56,752	3	56,756	—	56,756
一定の期間にわたり 移転される財 又はサービス	9,651	—	885	10,535	1,477	12,012	—	12,012
顧客との契約から生じる収 益	9,651	53,463	4,174	67,288	1,480	68,768	—	68,768
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,651	53,463	4,174	67,288	1,480	68,768	—	68,768
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,659	131	9	1,798	46	1,844	△1,844	—
計	11,309	53,594	4,183	69,086	1,526	70,612	△1,844	68,768
セグメント利益又は損失 (△)	2,822	3,115	△176	5,761	188	5,949	△2,785	3,164
セグメント資産	5,514	14,930	5,184	25,628	1,430	27,058	7,543	34,601
その他項目								
減価償却費	927	612	300	1,839	—	1,839	47	1,886
減損損失	113	—	—	113	—	113	—	113
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,388	1,500	1,293	4,180	—	4,180	15	4,195

- (注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業、BtoC課金サービス等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,785百万円は、セグメント間取引消去0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,785百万円であります。
3. セグメント資産の調整額7,543百万円は、セグメント間取引消去△8,093百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産15,636百万円であります。
4. 減価償却費の調整額47百万円は、各報告セグメントに帰属しない全社資産47百万円に係るものであります。
5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額15百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産15百万円であります。
6. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
1株当たり純資産額	139.38円	178.53円
1株当たり当期純利益	15.65円	28.97円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	10.42円	19.73円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,214	2,327
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,214	2,327
普通株式の期中平均株式数(株)	77,576,037	80,308,199
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	38,998,454	37,605,886
(うち転換社債型新株予約権付社債)(株)	(15,267,174)	(13,986,195)
(うち新株予約権)(株)	(23,731,280)	(23,619,691)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。